

1 授業について (参観時間帯: 導入 展開 まとめ)

単元名	水のかさをはかるう 本時 1・2 / 8
授業改善の主な視点	発問・指示 ノート指導 話し合い ICT活用
本時の目標	かさの比較を通して、かさの概念や測定、及びその単位についての理解を深める。
指導に当たって	一人一人の課題を的確に把握させながら、理解しやすい具体物を操作させることにより、主体的に活動させ、解決方法を身に付けさせる。また、少人数指導を行い、作業が確実に行われるように支援する。
ICTを活用する目的	課題の提示 動機づけ 指示の明確化 スキル定着 説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の代行 体験の想起(振り返り) 情報の共有 比較
活用するICT	コンピュータ プロジェクタ スクリーン 実物投影機 デジタルカメラ ビデオ インターネット デジタルコンテンツ CD-ROM スピーカー

2 授業の流れ

発問の型	学習意欲を高める発問 知識を広げる発問 思考を深める発問	主な活動	留意点 準備物など 評価
1	ビニル袋と花瓶に入ったかさが変わっているかどうか話し合う。 発問: 入れる物の形を変えるとかさは変わりますか。 ・形を変えても変わらない。 ・形を変えるとかさは変わる。 ・容器を変えてもかさは変わらない。 ・容器を変えるとかさは変わる。		・ 水の入ったビニル袋と花瓶を提示し、液量についての保存性が成り立つことを取り上げながら水のかさへの興味・関心を高める。
2	本時の学習課題をとらえる。 ① 水のかさの比べ方を考えよう。		容器ア, 容器イ 【関】長さの学習経験を生かしてかさの比較のしかたを考えようとしている。(観察・発表)
3	水のかさの比べ方を考える。 発問: ア, イのどちらに多く水が入るか比べる時、どのようにして比べたらよいでしょう。 ・1つの入れ物に水を入れて、もう1つの入れ物に移す。(直接比較) ・同じ大きさの入れ物に入れて、水の高さで比べる。(間接比較) ・カップで何杯かで比べる。(任意単位)		・ 班ごとに協力して活動できるようにする。 入れ物, バケツ, バットなど。 【表】かさの多少を直接比較, 間接比較の方法で比べることができる。(観察)
4	予想を立ててから、水のかさを比べる。 発問: どちらが多く入ると思いますか。 指示: 水が多く入るのは, ア or イのどちらか比べて, 発表しましょう。比べ方も発表して下さい。 友達と協力して、水のかさ比べをする。		・ 任意単位を用いる比較方法が出された場合は、よさを確認し

<ul style="list-style-type: none"> ・水があふれたので，アの方が多く入る。（直接比較） ・同じ大きさの入れ物に入れたら，水の高さが高いアの方が多く入る。（間接比較） 	<p>つつ第3時につなげる。</p>
<p>5 水のかさの表し方を考える。</p> <p>発問： どうすれば，容器イの方が容器アより，どれだけ多く入るかを調べられるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさのカップを使って何杯入るかで調べる。 <p>6 任意単位を用いて，水のかさを表す。</p> <p>指示： どうすれば，容器イの方が容器アより，どれだけ多く入るかを調べて発表しましょう。</p> <p>結果は結果表に書いて下さい。</p> <p>課 どうすれば，容器イの方が容器アより，どれだけ多く入るかを調べよう。</p> <p>7 調べた結果が正しいか話し合う。</p> <p>発問： 容器イは容器アよりいくつ分多く入るのですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさのカップじゃないから，分からない。 ・同じ大きさのカップでいくつ分かを調べないと分からない。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>発問： だれでも同じようにかさを測ることはできないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも同じ入れ物を使うといい。 <p>8 本時のまとめをし，かさを表す単位「デシリットル(d)」とその読み方，書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デシリットル(d)」の書き方を練習する。 <p>9 適用問題をする。</p> <p>10 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさの異なる容器を用意し，児童が自由に選べるようにする。 ・ はしが出た場合のあることにもふれ，「およそ」などのことばを用いて表現させる。 <p>大きさの異なる容器，結果表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用いた容器によって，はかった回数が異なっていることを確認する。 <p>【知】かさを表す単位には「デシリットル(d)」を使い「d」と書くことを理解する。</p> <p style="text-align: right;">（プリント・発表）</p> <p>フラッシュ型教材</p>

2時間連続の授業。4校時には，主な活動「5」～「10」を実施予定。